

令和7年度

事業計画書

学校法人 足立学園

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

「質実にして知性高く、宗教的情操を身につけた真人を育成する」

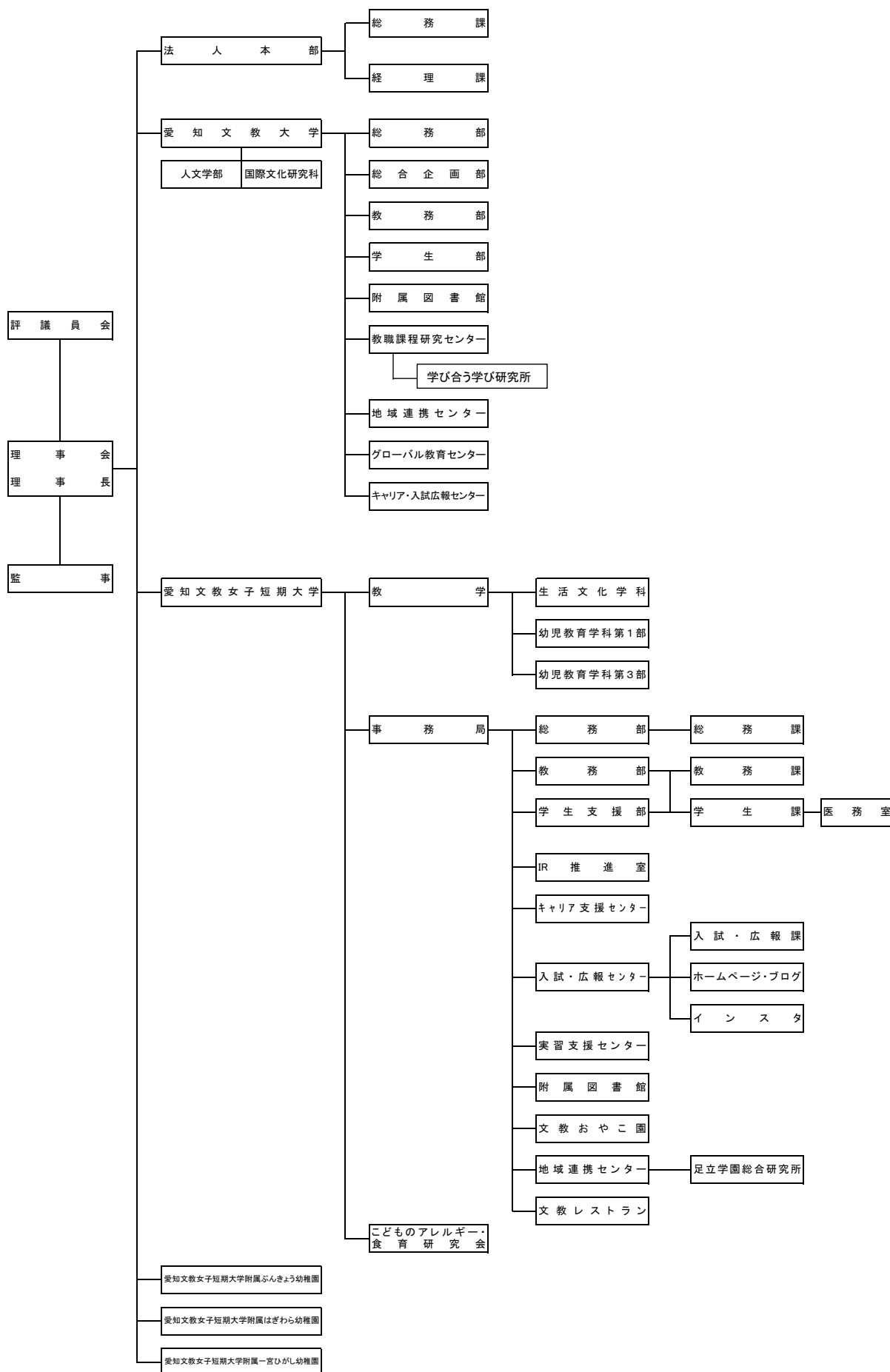
(2) 設置する学校・学部・学科等

愛知文教大学	大学院	国際文化研究科
	人文学部	人文学科

愛知文教女子短期大学	生活文化学科
	食物栄養専攻、生活文化専攻
	幼児教育学科第一部
	幼児教育学科第三部

愛知文教女子短期大学附属ぶんきょう幼稚園
愛知文教女子短期大学附属はぎわら幼稚園
愛知文教女子短期大学附属一宮ひがし幼稚園

(3)学校法人足立学園組織図（2025年度）



(4) 設置学校の収容定員・学生数等の状況

2025年3月1日現在

学校名	学部・学科名	収容定員	1 年	2 年	3 年	4 年	計
愛知文教大学	人文学部	470	64	55	55	73	247
	大学院修士課程	16	3	4			7
	小計	486	67	59	55	73	254
愛知文教女子短期大学	生活文化学科	140	27	20			47
	幼児教育学科第1部	130	11	27			38
	幼児教育学科第3部	210	45	40	54		139
	小計	480	83	87	54		224
学校名		収容定員	3 歳児 (満 3 歳含む)	4歳児	5歳児		計
愛知文教女子短期大学附属ぶんきょう幼稚園		360	99	76	80		255
愛知文教女子短期大学附属はぎわら幼稚園		270	79	65	52		196
愛知文教女子短期大学附属一宮ひがし幼稚園		207	78	37	61		176
計		1,803	406	324	302	73	1,105

令和7年度 愛知文教大学 事業計画

1. 令和7年度広報戦略

(1) 入試広報の入試アドバイザー（高校訪問・ガイダンスをお願いしている高等学校校長経験者）を短期大学と協同して活動することにより、経費の軽減を行う。

(2) 「人文学はじぶん学」：「じぶん」を探究する5つのコース

①人文総合コース…日本文化の基礎的な知識を修得し、読解力や問題解決能力の育成を目指す。さらに自分を言語化する力を磨くとともに、自己表現力や人間力を高める。

②グローバル英語コース…「英語を」学ぶではなく「英語で」学んで発信する。英語をツールとして、世界で通用する「じぶん」になる。

4技能習得 Listening（聞く）、Speaking（話す）、Reading（読む）、Writing（書く）

※2年生の夏季休暇中にセブ島での4週間の語学研修に参加

③中国語・中国文化コース…多角的な視野と知見を身につけ、初習者でも既習者でも中国語が「じぶん」の武器になる。

※HSK 学内受験

※1年の春期休暇中に台湾へ3週間の語学研修に参加

※中国の提携大学に6か月 or 1年間の交換留学推薦あり

④教員養成コース…人文学部の教員養成課程だからこその強みで、教員採用試験の合格だけでなく、学校現場で活躍できる教員養成を目指す。

※毎年現役合格者と共に、各地の県立高等学校で講師を務め合格する学生も多い。

2024年度は7名が教員採用試験で合格した。（過年度合格含む）

西尾市立一色中学、知多市立中部中学、浜松市立高台中学、長野県立伊那北高等学校、愛知県2名、岐阜県1名（6名国語、1名英語）

※本学にある「学び合う学び研究所」県内の小中高の現役教員が指導法を公開している。この研究所主催のセミナーに参加し、実践を学ぶ。

⑤国際日本コース…日本語運用能力修得のみならず、本学での学修・体験を通じて真の知日派を育成する。日本語能力試験N2以上の取得を基本とし、日本語で考え、日本語で発信する科目を多く設けている。

(3) 「全員留学」…全員に留学のチャンスを与える。学生個々が「じぶん」の思いを尊重したプログラムに参加する。また、学生個人が導き出した留学プログラムを支援する。

①語学研修（英語・中国語）

ラプラプセブ国際大学（フィリピン）、国立台湾師範大学（台湾）

②交換留学

北京外国語大学、北京聯合大学、三江学院大学

③派遣留学

アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド

2025 年度中にカンザス州のヘストン大学と提携予定

④パーソナル留学

学生自身の目的に応じ留学先を決定する。現在ドイツに留学中

⑤大学にて語学を学ぶ…学内留学

English ラウンジ、Chinese Communication ラウンジ、Japanese ラウンジ

⑥インターネットを活用した国際交流学修

e-Tandem Learning , e-Global Communication

(4) 中長期計画として、人文学部を科学する人文学科とする。

教育科学、バーチャル科学の新設を検討する。

(5) 通信学習経験者推薦入試の導入を検討する。

通信高校生向けの特別入学試験、オンラインプレゼン等を検討する。

(6) 4 年計画の人文学部学びキーワード「ことば」の集大成を完結する。

愛知文教大学は教養科目の学修キーワードを「ことば」として展開、4 年が過ぎた。「ことば」を大学教育の根幹をなすものと位置づけ、意思伝達の道具としての言葉を、社会や文化との関わりから問い直す研究を進めた。4 年間を通して「ことば」と社会との関係を体系的に学び、成熟した社会の一大要素として「ことば」を捉えることのできるグローバル人材の育成を目指す。

2. 交換留学生・編入生・海外提携大学科目等履修生

(1) ニュージーランド、カナダへの留学、中国（北京外国語大学、北京聯合大学、三江学院大学）との交換留学制度を復活した。

(2) 科目等履修生制度を廃止し、本学への編入学制度とした。将来は大学院への進学を目指す。

3. 地域・社会活動

(1) 小牧市の要請に基づき各種委員会等に委員として教職員の参加

(2) 小牧市の文化財啓発事業に協力し、古文書入門講座、小牧市歴史講座、小牧市歴史基礎講座、小牧市文化財地図作成等を実施

(3) 小牧市学習チューター制度（小中学校の学習支援）への協力

(4) 小牧市国際交流協会の事業協力

(5) 小牧市、羽島市との連携事業を充実させる。

以 上

令和7年度 愛知文教女子短期大学 事業計画

1. 広報戦略

各学科・専攻にコース制を導入し、学ぶ内容を明確にした。

(1) 生活文化学科 食物栄養専攻

①「フードビジネス」コース

食品開発、商品開発、食品流通、衛生管理、外食産業（カフェ経営）などに興味があり、食品業界へ就職を希望する学生

②食育コース

栄養教諭資格取得希望者、特待生、大学既卒等社会人入学生、保育所栄養士希望者

③「スポーツ栄養」コース

アスリート、スポーツ選手に対して栄養の指導を行うことを目標とする学生

(2) 生活文化学科 生活文化専攻

①情報デザインコース

パソコンやタブレット等の情報機器やデザインソフトを使用した実践的な学びにより、社会で求められる「情報発信力」を育成

②総合ビジネスコース

ビジネス実務やプレゼンテーションスキルを磨き、公務員や金融業界への就職

(3) 幼児教育学科 1部、3部

①こども音楽コース

障害のある子どもに対して、音楽を通した支援方法について体験的に学び、専門的な知識と技術を身につける（子ども音楽療育士）

②こどもとおもちゃコース

文教おやこ園を通して地域の子育て支援方法について学ぶ。また、おもちゃの選び方から遊び方、関わり方を実践的に学ぶ。（地域子育て支援士二種、おもちゃインストラクター）

③こどもスポーツ・レクリエーションコース

レクリエーション活動を通じて、誰もがスポーツ・レクリエーションを楽しめる指導者を目指す（レクリエーションインストラクター、スポーツ・レクリエーション指導者、幼児体育指導者検定）

(4) 海外研修

- ① ニュージーランド幼児教育研修 令和6年度は参加者が実施人数を下回り中止した。今年度は2学年分で実施したい。
- ② 韓国でのSDGs体験研修 「韓国語」の授業とタイアップ
今年度は令和7年3月4日から7日で実施します。

2. 文教おやこ園

稲沢市の委託事業(2020年4月から稲沢市役所委託事業として補助金運営)
週5日 9:30~15:00

3. 地域連携センター(足立学園総合研究所)の活動支援

(1) プラントベースの商品開発プロジェクト

株式会社名古屋食糧、株式会社おとうふ工房いしかわ、大田油脂株式会社
令和7年度はプラントベース「夢みるグラノーラ」の製造、販売
令和7年1月31日(金)中日新聞尾張版に記事が大きく掲載された

(2) サマーカレッジ2024

稲沢市・清須市
8月上旬 夏休み親子対象企画
短期大学、清須市春日公民館 SDGs 関連体験講座

(3) 食物アレルギー関連商品の開発、普及

社会福祉法人昭徳会(授産所高浜安立)
「ぱりまる」の普及(販売) 新商品の開発

(4) 稲沢市荻須記念美術館 大学パートナーシップ事業

(5) 学科による地域貢献事業

- ① 文教子どもフェスタ
- ② みんないっしょのクリスマス
- ③ ぶんきょう音楽祭(ぶんきょう幼稚園と共催)

以 上

3. 財務の概要

(1) 資金収支予算書 (令和7年度)

(単位:千円)

科 目		予算額	前年度予算額
収入の部	学生生徒等納付金収入	610,566	659,415
	手数料収入	10,130	10,702
	寄付金収入	6,735	7,968
	補助金収入	177,647	196,324
	資産売却収入	750,000	90,000
	付随事業・収益事業収入	84,938	92,796
	受取利息・配当金収入	16,262	16,268
	雑収入	15,468	110,362
	借入金等収入	0	0
	前受金収入	194,659	202,065
	その他の収入	327,083	357,639
	資金収入調整勘定	△ 222,327	△ 283,261
	前年度繰越支払資金	578,139	792,121
	合 計	2,549,300	2,252,399
支出の部	人件費支出	693,565	763,953
	教育研究経費支出	259,071	282,457
	管理経費支出	228,766	263,371
	借入金等利息支出	0	3
	借入金等返済支出	0	0
	施設関係支出	0	7,398
	設備関係支出	2,050	24,203
	資産運用支出	60,000	120,000
	その他の支出	359,800	304,217
	予備費	5,000	5,000
	資金支出調整勘定	△ 18,215	△ 70,856
	翌年度繰越支払資金	959,263	552,653
	合 計	2,549,300	2,252,399

3. 財務の概要

(2) 事業活動収支予算書

(令和7年度)

(単位:千円)

科目			予算額	前年度予算額
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	610,566	659,415
		手数料	10,130	10,702
		寄付金	6,735	7,968
		経常費等補助金	177,647	196,324
		国庫補助金	73,406	85,213
		地方公共団体補助金	104,241	111,111
		付随事業収入	84,938	92,796
		雑収入	14,428	110,362
		教育活動収入計	904,444	1,077,567
	事業活動支出の部	人件費	693,565	769,113
		教育研究経費	426,731	451,027
		管理経費	246,366	290,821
		徴収不能額等	0	0
		教育活動支出計	1,366,662	1,510,961
教育活動収支差額		△ 462,218	△ 433,394	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	16,262	16,268
		その他の教育活動外収入	0	0
		教育活動外収入計	16,262	16,268
	事業活動支出の部	借入金等利息	0	3
		その他の教育活動外支出	0	0
		教育活動外支出計	0	3
教育活動外収支差額		16,262	16,265	
経常収支差額		△ 445,956	△ 417,129	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0
		その他の特別収入	0	0
		特別収入計	0	0
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	136,443
		その他の特別支出	0	0
		特別支出計	0	136,443
	特別収支差額		0	△ 136,443
予備費		5,000	5,000	
基本金組入前当年度収支差額		△ 450,956	△ 558,572	
基本金組入額合計		△ 17,326	△ 22,274	
当年度収支差額		△ 468,282	△ 580,846	

(参考)

事業活動収入計	920,706	1,093,835
事業活動支出計	1,371,662	1,652,407